

下記の表は、UNIX でよく使われるコマンドとそのコマンドがフィルターとして使えるかを示したものです。

表の見方

入力の欄の記号は、

- ◎ ファイル名を書けばそれから読み込み、そうでなければ標準入力から読み込む。
- 標準入力から読み込む。
- △ ファイルからも標準入力からも読み込みを行なえるが、指定してやらなければならない。
- × 入力を必要としないコマンドである。

となっており、出力の記号は、

- 標準出力に出力を行なう。
- △ ファイルや標準出力に出力を行なうことが出来るが、指定が必要である。
- × 出力を行なわない。

となっています。△の印が付いているコマンドは、オンラインマニュアルで調べてみましょう。

コマンド名	入力	出力	コマンドの機能
awk	◎	○	テキスト処理言語
basename	×	○	ファイル名の抽出
bc	◎	○	計算機
cal	×	○	カレンダー
cat	◎	○	ファイルの連結
cb	◎	○	C 言語ソースの整形
chgrp	×	×	ファイルの所有者の変更
chmod	×	×	ファイルのパーミッションの変更
cmp	△	○	バイト単位での二つのファイルの比較
comm	×	○	二つのファイルの共通行の表示
cp	×	×	ファイルのコピー
crypt	○	○	入力の暗号化および復号
csh	◎	○	C-Shell
date	×	○	日時の表示
dc	◎	○	高精度計算機
dd	△	△	ダンプユーティリティ
diff	△	○	二つのファイルの比較
diff3	△	○	三つのファイルの比較
du	×	○	ファイル / ディレクトリの大きさの表示
echo	×	○	引数を標準出力に出力
file	×	○	ファイルの種類を識別
find	×	○	ファイルの検索
graph	○	○	グラフの描画 (text- <i>graph</i>)
grep	◎	○	文字列の検索
head	◎	○	ファイルを先頭を表示
join	△	○	二つのファイルの行単位の結合
kill	×	×	プロセスの停止
ln	×	×	ファイルのリンクの生成
ls	×	○	ファイルのリストを取る

コマンド名	入力	出力	コマンドの機能
mail	○	×	メールを送る
man	×	×	オンマニュアルの表示
mkdir	×	×	ディレクトリの生成
mv	×	×	ファイルの移動
nice	×	×	プロセスのナイスレベルの変更
nroff	◎	○	テキストフォーマッター
od	◎	○	ファイルダンプ
plot	○	○	グラフの描画 (graph-;terminal)
pr	◎	○	テキストフォーマッター
ps	×	○	プロセスの表示
pwd	×	○	現在のディレクトリの表示
rev	◎	○	行を逆順に変更する
rm	×	×	ファイルの削除
rmdir	×	×	ディレクトリの削除
sed	◎	○	ストリームエディタ
sh	◎	○	Born-Shell
size	×	○	ファイルのサイズの表示
sleep	×	×	プロセスの一時中断
sort	◎	○	テキストのソート
split	△	○	テキストの分割
sum	×	○	ファイルのチェックサムを計算する
tail	◎	○	ファイルの末尾を表示
tar	△	○	ファイルの書庫化
tee	○	○	標準出力のファイル化
test	×	×	各種のテスト
time	×	×	実行時間の表示
touch	×	×	ファイルの更新
troff	◎	×	テキストフォーマッター
tty	×	○	使用している端末番号の表示
uniq	◎	○	同一行の削除 / 表示
who	×	○	利用者を調べる